

科目名	情報Ⅰ シラバス
-----	----------

担当者氏名	
-------	--

単位数	2	学年・組	1年1,2,3,4,5組
使用教科書	2束書 情Ⅰ701 「情報Ⅰ」		
副教材	自主作成ワークシート、授業内容説明用動画・スライド、Microsoft365、自主作成実習ワークシート		

### 科目の内容と学習到達目標

#### ○科目の内容

##### ①オリエンテーション

(1)教室の利用における注意事項について (2)学習に内容に関することについて (3)評価に関することについて

##### ②情報で問題を解決する

(1)情報とメディアの特性 (2)問題解決の流れと発想法 (3)情報モラル (4)個人情報の流出 (5)著作権  
(6)情報技術の発展 (7)よりよい情報社会へ

##### ③情報を伝える

(1)コミュニケーション手段の変化と特徴 (2)情報量の単位と2進法 (3)数値・音・画像・動画のデジタル表現  
(4)目的に応じたデジタル化 (5)情報デザインとユニバーサルデザイン (6)情報デザインの流れ  
(7)wordでチラシ作成

##### ④コンピュータを活用する

(1)コンピュータとは何か？とソフトウェアの仕組み (2)演算の仕組みと論理回路 (3)アルゴリズムの表現  
(4)プログラムの基本構造1～3 (5)発展的なプログラム1～3 (6)モデル化とシミュレーション  
(7)実際のシミュレーション

##### ⑤データを活用する

(1)ネットワークとインターネット (2)サーバとクライアントとインターネット上のサービス (3)ホームページを作成する  
(4)電子メールとメールソフトの活用 (5)情報セキュリティ (6)データの形式とデータの分析  
(7)プレゼンテーションソフトの活用 (8)電子メールとメールソフトの活用 (9)データベースの活用とさまざまなデータモデル  
(10)データベースソフトの活用

#### ○学習到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとお

### 科目の評価方法

【知・技】＝全体の50%

①中間・期末テスト ②日々の授業で行う小テスト ③実習における取組みなど

【思・判・表】＝全体の30%

①実習における課題の進捗状況 ②グループワークにおける取組状況など

【態】＝全体の20%

①自己評価や相互評価 ②ファイルの提出状況 ③授業中の発言や教師の行動観察など

### コンピュータ室利用時における留意点

①機器や設備、資源を大切に扱うこと。 ②コンピュータ教室内への飲食物持ち込まないこと。  
③教室の利用時は必ず靴箱に靴を入れること。 ④パソコン等の各種設定の変更をしないこと。  
⑤椅子を滑らせて移動しないこと。

### 学習計画

学習のねらい	期	月	学習内容
・情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。(知・技)		4	①オリエンテーション (1)教室の利用における注意事項について (2)学習に内容に関することについて (3)評価に関することについて
・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。(思・判・表)		5	②情報で問題を解決する (1)情報とメディアの特性 (2)問題解決の流れと発想法 (3)情報モラル (4)個人情報の流出 (5)著作権
・情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。(態)			

<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している。(知・技)</li> <li>メディアとコミュニケーション手段について、目的や受け手の状況に応じて適切に選択し表現することができる。(思・判・表)</li> <li>メディアとコミュニケーション手段について、その変遷や特徴について科学的に理解しようと粘り強く取り組もうとしている。(態)</li> </ul>	1 学期	6  7	<ul style="list-style-type: none"> <li>(6)情報技術の発展</li> <li>(7)よりよい情報社会へ</li> <li>③情報を伝える <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)コミュニケーション手段の変化と特徴</li> <li>(2)情報量の単位と2進法</li> <li>(3)数値・音・画像・動画のデジタル表現</li> <li>(4)目的に応じたデジタル化</li> <li>(5)情報デザインとユニバーサルデザイン</li> <li>(6)情報デザインの流れ</li> <li>(7)wordでチラシ作成</li> </ul> </li> </ul>
夏季休業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを構成するハードウェア及びソフトウェアの役割、コンピュータ内部での演算の仕組みを理解している。(知・技)</li> <li>目的に応じたアルゴリズムを考え、適切な方法で表現することができる。(思・判・表)</li> <li>問題の発見・解決にコンピュータを積極的に活用しようとしている。(態)</li> <li>情報通信ネットワークの仕組みやプロトコルの役割について理解している。(知・技)</li> <li>目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択している。(思・判・表)</li> </ul>	2 学期	9  10  11  12	<ul style="list-style-type: none"> <li>④コンピュータを活用する <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)コンピュータとは何か？とソフトウェアの仕組み</li> <li>(2)演算の仕組みと論理回路</li> <li>(3)アルゴリズムの表現</li> <li>(4)プログラムの基本構造1～3</li> <li>(5)発展的なプログラム1～3</li> <li>(6)モデル化とシミュレーション</li> <li>(7)実際のシミュレーション</li> </ul> </li> <li>⑤データを活用する <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ネットワークとインターネット</li> <li>(2)サーバとクライアントとインターネット上のサービス</li> <li>(3)ホームページを作成する</li> <li>(4)電子メールとメールソフトの活用</li> </ul> </li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。また、情報セキュリティの重要性を理解している。(知・技)</li> <li>・目的や状況に応じて、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。(思・判・表)</li> <li>・問題の発見・解決においてデータを活用するにあたり、適切なデータの選択や整理の仕方について粘り強く取り組み、試行錯誤しながら評価しようとしている。(態)</li> </ul>	3 学 期	1	⑤データを活用する (5)情報セキュリティ (6)データの形式とデータの分析 (7)プレゼンテーションソフトの活用
		2	(8)電子メールとメールソフトの活用
		3	(9)データベースの活用とさまざまなデータモデル (10)データベースソフトの活用

### 評価の観点・方法

・評価方法は、「科目の評価方法」をもとに以下の観点で総合的に評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。</li> <li>・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している。</li> <li>・コンピュータを構成するハードウェア及びソフトウェアの役割、コンピュータ内部での演算の仕組みを理解している。</li> <li>・情報通信ネットワークの仕組みやプロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。また、情報セキュリティの重要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。</li> <li>・メディアとコミュニケーション手段について、目的や受け手の状況に応じて適切に選択し表現することができる。</li> <li>・目的に応じたアルゴリズムを考え、適切な方法で表現することができる。</li> <li>・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。</li> <li>・メディアとコミュニケーション手段について、その変遷や特徴について科学的に理解しようと粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>・問題の発見・解決にコンピュータを積極的に活用しようとしている。</li> <li>・問題の発見・解決においてデータを活用するにあたり、適切なデータの選択や整理の仕方について粘り強く取り組み、試行</li> </ul>	

**使用教材・教具等：**コンピュータ及び周辺機器、プロジェクター、スクリーン、自主作成ワークシート、授業内容説明用動画・スライド、Microsoft365、自主作成実習ワークシート

<b>【知・技】</b> ①中間・期末テスト②日々の授業で行う小テスト③実習における取り組みなど	1 学 期	課 題：学習後の小テスト及び授業の振り返り、実習等で与えられた課題、タイピング 提出物：授業で学習したワークシート、実習で制作したデータやファイルなど
<b>【思・判・表】</b> ①実習における課題の進捗状況②グループワークにおける取組状況など	2 学 期	課 題：学習後の小テスト及び授業の振り返り、実習等で与えられた課題、タイピング 提出物：授業で学習したワークシート、実習で制作したデータやファイルなど
<b>【態】</b> ①自己評価や相互評価②ファイルの提出状況③授業中の発言や教師の行動観察など	3 学 期	課 題：学習後の小テスト及び授業の振り返り、実習等で与えられた課題、タイピング 提出物：授業で学習したワークシート、実習で制作したデータやファイルなど

### 備考

・このシラバスは沖縄県立美里高等学校1学年の生徒を対象としたものである。